

国際ロータリー第2560地区
ガバナーテーマ

「クラブと地区の
変革をめざそう」

高田ロータリー今年の
スローガン

「しなやかな変化で
奉仕を高めましょう」



ロータリー：
変化をもたらす

2017～2018年度

国際ロータリー会長 **イアンH.S.ライズリー**
2560地区ガバナー **新保 清久**
高田ロータリー会長 **橋詰 敏一**
幹事 **田中 正人**

事務局：新潟県上越市西城町2-10-25 大島ビル201号
TEL (025) 526-3288 FAX (025) 526-3534
メールアドレス：takadarc@joetsu.ne.jp
例会場：デュオ・セレッソ TEL (025) 526-3111

クラブ広報・会報・雑誌委員
箕輪 賢一 堀井 靖功 渡邊 隆 山田 守
小池 猛紀

第13回例会 ■ 10月6日(金)

No.13

会長挨拶 ● 橋詰 敏一



一昨日10月4日は、旧暦の9月15日「十五夜」でしたが、残念ながら雲に隠れておりました。昨日は、「十六夜=いざよい」の月で、薄曇りのおぼろ月でした。本日は、ちょうど満月ですが、あいにく雨模様の予報。一年でも最も月が美しい頃です。晴れがほしいです。旧暦（陰暦）から新暦（陽暦）に変わったのが、西洋近代化に向かった明治初期ですが、古来からの旧暦は私達日本人の文化の根底に流れております。二十四節気には代表されますよう、カレンダーにも記され、生活に生かされております。最近、時代の流れで気にされない方も多くいらっしゃいますが、月の歴は母なる海の満ち引きを起こし、地球生命誕生の源とされています。美しい自然をめで、控え目で奥深い心情を美德とする日本人としては、「月」をもっと愛でる余裕を持ちたいものです。来週の「月見の会」は、絶好の機会です。皆さん参加下さい。

月の話は、尽きませんので、この辺にして、10月は、ロータリー「経済と地域社会の発展月間、米山月間」です。今月は、本町の花ロード、SAKE祭りを代表に、各地域で収穫を祝う、収穫祭・産業祭が開催されます。主催者・参加者各々

の立場での活躍を期待致します。また、米山奨学会の地区委員長会議に佐藤（信明）委員長さんより出席いただきます。米山奨学会への協力をお願い致します。

出席報告

出席率 94.92%

メイクアップ

橋詰敏一君・田中正人君・遠藤 巖君・岩崎幹男君・杉山高男君・高坂光一君・佐藤憲二君・佐藤教彦君・中田 正君・伴 長門君・福田 聖君・堀井靖功君・牧野章一君・水上喜芳君・大島 誠君（10/7 地区植樹事業）
佐藤信明君（10/7 米山奨学委員長セミナー）

委員会報告

親睦委員会——10/13 お月見例会のご案内・10月のお誕生日 各お祝い
ロータリー財団委員会——寄付のお願い・10/27 卓話について
社会奉仕委員会——10/7 植樹事業について
10:00 高田ターミナルホテル出発（バスにて移動）
12:00 植樹終了後高田ターミナルホテルにて昼食後解散

会員インフォメーション

橋本眞孝君——赤い羽根共同募金のお願い

幹事報告

配布物：週報No.12

回 覧：ガバナー月信10月号・九州北部集中豪雨義援金御礼状・糸魚川駅北大火復興支援イベントパンフ

報 告：会員名簿について・糸魚川駅北大火復興支援イベント開催のご案内（招待券12枚有）

会員卓話 最近のニュースについて 2

夏井 陽三 君



最近のニュースはもちろん解散総選挙。上越は市長選と6区とダブル選挙になった。国政は小池百合子さんに野党も与党も振り回されている。元をたどれば安倍首相が電撃的な解散に出たからだ。今回の解散は大義がないといわれる。野党の準備ができていない、森友、加計学園の問題、疑惑を隠すための解散だと批判されている。森友学園の問題は大阪の国有地が8億円も安く売却された疑惑から始まった。首相の奥さんの昭恵さんが名誉校長になった、当時の籠池理事長が昭恵さんから「これは安倍晋三からです」と100万円の寄付を受けたと爆弾発言した。自民党の方から証人喚問でたどすとなった。でも物証がないから、覆すことはできず、証人喚問は籠池氏の独演会になった。官邸

は籠池氏を絶対に許さないとなった。籠池氏は奥さんと一緒に、補助金を不正に受給した詐欺容疑で逮捕された。加計学園の問題は、岡山県の加計学園が愛媛県の今治市に獣医学部を新設するので、官邸から「総理の意向だ」と圧力がかかったとかいわれた。世論は説明が足りないと反発した。臨時国会での追及は困るから、首相は解散したということ。獣医学部の新設が正しい判断だったのか。正しい判断なら、つまり岩盤規制にドリルで穴を開ける英断で、50年にわたって新設が認められなかった獣医学部をつくるのが世の中のためになることなら、官邸が圧力をかけても、忖度があっても、別に問題じゃない。でも今回は少しおかしい。

「絆の森」めざし植樹

社会奉仕委員会

「地球環境保全のための植樹事業（上越地区）」が、10月7日(土)上越市板倉区国川地区で行われました。同地は平成24年3月に発生した地滑り現場で、当時の状況写真と比較し、あらためて災害の大きさを確認しました。

植樹により「絆の森」を目指そうと上越地区から60名のロータリアンが参加。高田クラブからは遠藤社会奉仕委員長はじめ15名が参加し、山桜、ななかまど、めぐすりの木を二人一組で30本植樹しました。大地にしっかりと根付くことを期待しましょう。

